



前田  
美沙



篠田  
大樹



片山  
素晴

## 活動報告

Ver.

今年もコロナ禍で直接お会いして報告することができなくなりましたので、今回は地域おこし協力隊及び集落支援員の活動報告とさせていただきます。また、ウェブでも配信予定ですので是非ご覧ください。（詳細は来月号でお知らせします）



あわただしく変化する世界情勢を横目に見ながら、天龍村での生活を楽しんでいる今日この頃。地域おこし協力隊2年目に突入しましたので、去年の活動と今年の目標を報告したいと思います。去年の活動報告では任期3年の計画として、

- 1年目：地域に馴染む
- 2年目：やりたいことをやってみる
- 3年目：退任後の生活を想定した活動を実践としていました。

1年目は天龍農林業公社での農地管理をベースとし、無理せず穏やかに地域に馴染むことを第一にやってきました。草刈をはじめ、播種・元肥・耕耘・畝立・定植・水やり・芽かき・葉かき・誘引・追肥・消毒・収穫・出荷など農業の流れを経験させていただきました。また受託作業で獣害防止対策柵の見回り・村道の草刈・お茶の整枝・ゆずの整枝収穫などでいろんな地域へも行くことができました。

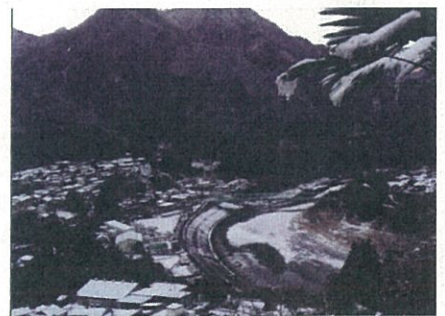
反省点は、SNSを利用して天龍農林業公社の情報発信していたのですが、いろいろあって中途半端で止まってしまいました。また、表向きな情報を発信するだけでなく、休耕農地・農業の担い手などの問題についても、自分なりの考えを発信するなどの行動をおこすべきだったと感じています。

2年目は『やりたいことをやってみる』です。天龍村にきた目的のひとつは、今までの無機質な生活から抜け出して（少し恥ずかしいフレーズ……）、自然の多い場所で、作物を育てたり、狩りをして生活を充実させたいからです。そう考える人は沢山いると思います。なので、実際はどうなの？と考える人の参考になるように『持続可能な生活』を目的としてやりたいことをやってみようと思います。やりたいことは先月号に書きました、

- ◆自分が食べる野菜づくり
- ◆自分が食べる肉づくり
- ◆ちよつとした収入源の菌床きのこ
- ◆趣味と実益を兼ねたキャンプ場の管理

です。2年目後半から3年目はこれらをコンテンツとして情報発信できればと考えています。

活動的になることにより、「迷惑をおかけするかもしれない。その時は温かい目で、ご指導、ご協力をお願いいたします。」



協力隊になり、2年と7カ月が経ちました。早いような、もつとずつと長く天龍村や南信州にいるような、不思議な気持ちです。今回は活動報告ということで、振り返りと今後の事について、今考えている事をつらつらと書きたいと思います。

私は天龍村に来る前、長野県の東信地方で高原野菜農家をしていました。

協力隊になろうと思ったきっかけは「このままずっと農業を生業にしていきたいけど、どこかで腰を据えて畑をする前に何か新しいことを学びたい」という漠然とした理由でした。

その「新しく学びたいこと」というのが、当時の畑で頭を悩ませていた獣害対策と、災害が起こった時に畑が全滅しても、ライフラインが停止してもなんとか生活していけるような、「サバイバル能力」のようなものでした。

山暮らしを学びながら天龍村でも何か少し農業をできたらいいなあと考えていたところ、偶然にも中井侍でお茶の栽培のお手伝いをする機会があり、そのままお茶作りの面白さ魅せられ、気がつけば活動の大半が中井侍銘茶に関するものになっていました。

手伝い始めた頃はまさか自分がお茶の栽培を始め、製茶工場でお茶の加工を学び、そのお茶を販売したりお客さんに提供したりするようになるとは全く想像していませんでした。



奇しくもお茶は獣害による被害がほとんどないため、協力隊になるきっかけになった狩猟に関する活動はあまり大々的に行わなくなっていました。細々とでも続けたいと思っています。

さて、協力隊期間はあと5か月ほどとなったわけですが、残りの期間は引き続きお茶の栽培管理と製茶工場での勤務を行います。

4月までは茶摘み前の管理、5月中は茶摘みと製茶工場での作業、6月から8月までは夏整枝作業、そうこうしている間に気がつけば卒業の日になるでしょう。

協力隊卒業後も生活の拠点として天龍村には家と住民票を残し、中井侍でのお茶の栽培も変わらず継続していく予定です。

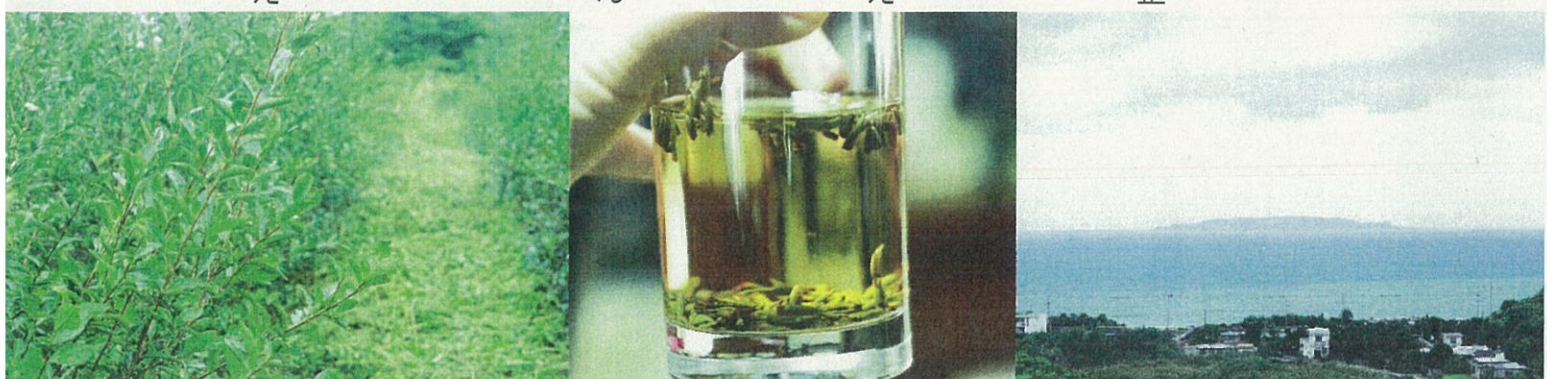
ありがたいことに個人的な販路もだいぶ増えてきて、綱渡りながらもなんとか「お茶農家」として独立出来そうな算段が立ってきました。お茶の栽培は毎日一年中あるわけではないので、その条件を利用して沖繩と天龍村の二拠点での農業を続けようと考えています。

実は毎年お世話になっている沖繩の農家さんの畑の一部に3年ほど耕作放棄された小さな紅茶畑があるのですが、その畑を昨年冬から整備し、管理しています。

「べにほまれ」と「べにふうき」2種類の紅茶の木が植えられており、今年試しに摘んでみた紅茶は絶品でした。

どうなるか未知数なところも沢山あるのですが、春々秋は中井侍の茶農家、冬は沖繩の茶農家というライフスタイルを作りたいと考えており、とても楽しみにしています。

何はともあれ協力隊卒業後も天龍村に残り生活させていただく予定です。残りの協力隊期間、そして協力隊卒業後も引き続きよろしくお願いたします。



## この一年の活動

篠田 大樹

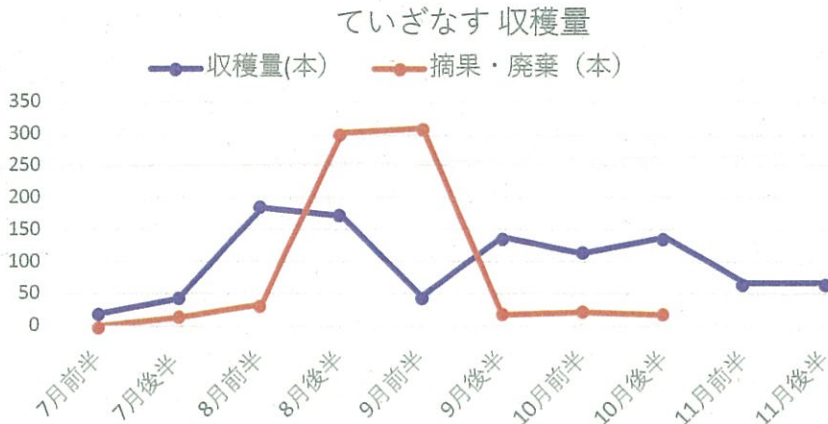
### 【ていざなす】 栽培・販売・PR

栽培株数：115株 収穫量：1021本（内B級275本）販売高：約18万円

4月～土づくり、畝立て 5月19日 定植 7～11月 収穫、出荷

8月30日、10月25日 いなまち朝マルシェ出店 10月4日 収穫体験ツアー受入れ

11月13,14,21,22日 秘境駅号出店



8月中旬から肥料切れや害虫による生育不良や発色不良が起こり、最盛期に出荷できないものが増えてしまったが、施肥や殺虫剤による対処で9月後半には出荷割合を増やすことができた。

### 【中井侍銘茶】 栽培管理・販売・営業PR

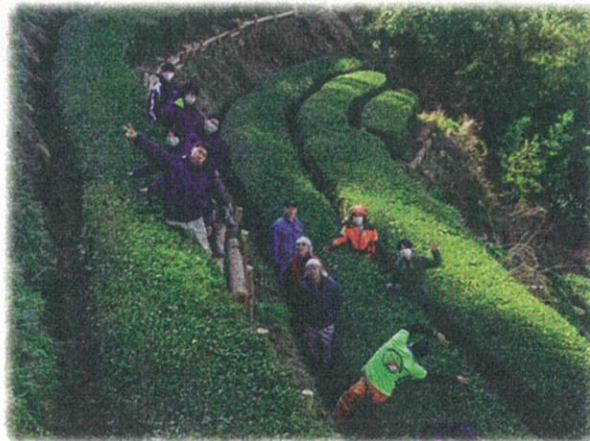
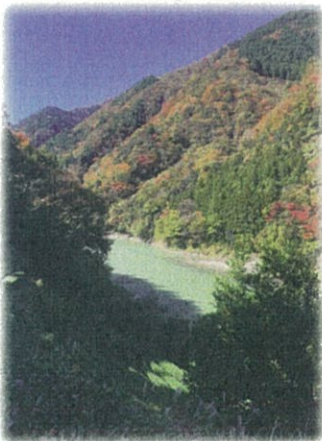
管理面積約40a 卸、販売等約15kg 宿泊施設2件、道の駅等3件、計5ヶ所で販売

8月30日、10月25日 いなまち朝マルシェ出店

3月 施肥 5月 茶摘み 6～7月 整枝、草刈り 10～11月 整枝、草刈り、施肥

7月に土砂崩れが起こったため、修復・整備事業費をクラウドファンディングで約50万円を基金

12月 土砂復旧工事、12～1月 歩道整備材料準備 1月31日 歩道整備作業実施完了



### その他

味開の味噌作り参加 野菜苗栽培・販売 エゴマ栽培  
ゆべし作り参加

今後の予定している新たな取り組み

中井侍のお茶の2番茶を紅茶に加工・販売

中井侍銘茶の関連商品の販売

茶畑にツリーハウスの製作 農作業体験等のツアーの実施



集落支援員  
にしのはるか  
西野 明花  
福島地区在住



天龍村 見守り・買い物ご用聞き事業

# やまびこデリ

集落支援員  
やなぎさわ みちこ  
柳澤 通子  
岡本地区在住



080-7825-3837

買物弱者対策・拠点施設設立について検討委員会で話し合いを行い、2020年4月より社会福祉協議会×役場×村内協力店の連携事業として「見守り・買い物ご用聞き事業」が始まりました。本紙では、今までの活動報告をさせていただきます。

## 私たちの仕事

主な業務内容

- ・取扱商品カタログ・チラシ作成
- ・買い物の注文聞き取り・配達
- ・全村巡回（月～金まで5ルート）
- ・高齢者の見守り（2~3か月に1回程度が実情）
- ・商店への預り代金支払い等



8:30	納品受取・商品確認・仕分け
	注文受付 配達・見守り巡回
12:00	事務 日々の精算・翌週分発注 チラシ作成 レジデータ確認管理 月中月末の明細精算 など
17:00	

## 現在の利用状況

2020年6月15日より配達開始

協力店  
13軒

取扱商品数  
577点  
(21年2月1日時点)

活動範囲  
村全域

利用件数  
386件  
(20年6月～翌1月  
発注時)

平均利用額  
2,447円  
/1件あたり

## 私たちが感じたこと

商店側からは、仕入先都合での商品変更や社会情勢による価格変動等、大型スーパーのようにはできない諸事情を少しは感じとることが出来ました。

巡回する中で気づいたことは、村民の多くの方は、病院等の外出のついでに店舗へ寄ったり、ご親族の手助けがあったり、従来の宅配・移動販売系サービスを利用して食料品等をまかなっているという現状でした。

また「今はまだ車に乗れるけど、乗れなくなったらお願いしたい」との声も多くあり、今後どこの地区でも自由に買い物ができる選択肢を増やしていくことが重要ではないかと改めて思いました。

「無理なくていいからね」等々、私達自身が皆さんからの温かいお言葉に助けられ、たくさんの励ましやパワーを頂きました。やまびこデリをご利用くださって、ひよっこな私達を気にかけてくださって、本当にありがとうございました。

正直、実動員が2人ということもあり、マンパワー不足で十分な見守り活動が出来ませんでした。来年度は新たに地域おこし協力隊を迎えて、より一層活動に力を入れていきます。「車で買いに行くのが難しい」「欲しい商品がある」「会話をしたい」「1つだけでも買いたい」などありましたら、是非お気軽にお声がけください。これからも皆様に愛される【やまびこデリ】をめざしていきます！

- 「こんな商品が欲しい」…  
商店に随時打診して仕入れ可能なものは、リクエスト商品として取り扱えるようにしています。
- 「賞味/消費期限が気になる」…  
商品の鮮度が保たれた状態で納品して頂くのが大前提ですが、配達当日の納品時に商店側と一緒に私達も1つずつ検品しています。
- 「商品価格が高い」  
「チラシ作成費も高いのではないかな」…  
このようなご意見や配達に関するご質問等のお声には、私達がお応えできる範囲で随時「旬のお届け便チラシ」の販売員コメント欄等に書かせていただいています。

お客様の声  
Q & A

## この1年を振り返って

全くの素人2人がゼロからのスタートで試行錯誤しながらも、少しでも村民の皆さんのお役に立ちたい！見守り・買物商品だけでなく笑顔や元気も村中にお届けしたい！の一心で、ここまでやってきました…が、活動する中で、「来てくれてうれしい」「助かるよ」「楽しみだよ」「お茶飲んでいきな」



## 集落支援員 えごま班



牧野雅美

今年度も、8つの地区を担当させていただき、道そうじ、イベントのお手伝い、巡回を行っています。また、遊休荒廃地対策、村の活性化のためにえごま栽培普及活動を行っています。今回はたくさんの方に関わっていただいた天龍村えごまプロジェクトのトピックスをご紹介します。



佐々木裕子

### 【結いのつながり！！】

一人では作業が大変な時に、結いで助けあって収穫・脱穀・洗いの作業を行う風景があちこちで見かけられました。初めてのえごま栽培でも大丈夫ですよ(\*^-^\*)



### 【もらい乳！？】

今年度初めてえごま栽培をスタートされる方も多く、途中で苗が足りなくなってしまった方、定植後に虫に食べられてしまった方が多くいらっしゃいましたが、向方地区の村松克一さんが、「よかったら好きだけ持って行ってね〜！」と、地区での普及活動に努め、たくさんの苗を育ててくださっていたので、今年度の大幅収量UPに繋がりました。松島、原、下山地区でもこのような「まるで昔のもらい乳現象☆」が起こり、たくさん苗を作った方から足りない方の畑へと苗が行き交っていました。

### 【念願の脱穀機導入！！】

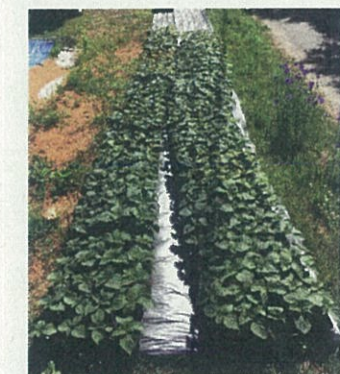
えごまは収穫までは手がかからず簡単なのですが、脱穀以降の作業が大変ということで普及のネックになっていました。しかし、脱穀機導入のおかげで「もうえごま栽培やめたいよ。。」というセリフを今年度は耳にすることなく、「脱穀機があるなら、来年度はもっと栽培を増やすよ！！」という、心強いお言葉をたくさん頂きました。



### 【えごま健康生活】

えごまの実やえごま油、脱脂えごまを日々の食卓に取り入れるようになって、「血圧が下がったよ！」、「血糖値が良くなったよ！」、「ヘモグロビンの数値が良くなったよ！」etc…嬉しい報告をたくさん頂くようになりました。天龍村えごまプロジェクトを通じて村のみなさまから、昔ながらの道具の使い方、あるととても

便利な道具、たのしい段取り方法などたくさんの方を教えていただきました。また、1年を通じて多くの方に取材対応にご協力いただき、本当にありがとうございます。来年度もよろしくお願いいたします！！



2月25日に活動報告動画を撮影しました



## ■今年度の活動報告会について

昨年度に引き続き、今年度も地域おこし協力隊・集落支援員の活動報告会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とさせていただきます。

現状村のケーブルテレビも故障していることから、今年度は、

・「ありが隊新聞」で一年間の活動報告をまとめる

・動画配信サイト（ユーチューブ）を活用し、オンライン上で公開する

これら2つの方法で、活動の報告をさせていただくことと致しました。今回発刊の号では、地域おこし協力隊と、集落支援員の活動内容を報告させていただきました。なお動画配信は、現在編集作業を行っており、3月下旬発行のありが隊新聞で配信用アドレスを公開予定です。

## ■令和3年度の地域おこし協力隊・集落支援員体制

地域おこし協力隊は4月より新たに4名が加わります（男性3名、女性1名）。おもな活動内容は、買物弱者対策や和知野川キャンプ場の管理人、有害鳥獣駆除等のミッションに取り組んでいた予定です。また、前田隊員が7月をもって任期満了により退任となりますが、引き続き天龍村で活動を続けていただけの予定です。集落支援員は今年度同様4名で、えごま・集落点検班と、見守りご用聞き班で活動いただきます。見守りご用聞き班に新たに地域おこし協力隊も加わるため、配達や見守りなどをさらに強化していく予定です。

地域おこし協力隊や集落支援員の活動は、毎月の「ありが隊新聞」や「えごま通信」「やまびこデリ 旬のお届け便」等で確認いただけるほか、フェイスブックやインスタグラムでも配信しています。来年度は協力隊・支援員あわせて11名の大所帯となります。引き続き、地域おこし協力隊・集落支援員の活動にご理解・ご協力いただきますよう、お願いいたします。

（地域振興課移住定住推進係）

※本多隊員は2月末をもって任期満了により退任しました。本人より記事掲載辞退の申し出がありましたので、掲載がありません。本来であれば村民の皆様にご報告するところですが、失礼ながらこの場を借りて退任のあいさつに代えさせていただきます。3年間活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。